

科目分類	看護専門科目（地域・在宅看護学）	開講時期	1・2年	前期		
研究キーワード	地域看護学・沢内村・認知症・地域包括ケア					
科目名	地域看護学特論					
英文	Advanced Study in Community Health Nursing					
選択／必修	選択	単位数（時間数）	2単位	30時間	授業形態	講義
担当教員	畑野 相子					
メールアドレス	a-hatano@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	授業後90分			

授業目的	<p>1. 地域看護学に係わる歴史的変遷を踏まえ、地域で生活する人々の健康を衛支援のあり方を理解する。</p> <p>2. 生活習慣病（主として認知症）をテーマに予防から非薬物療法について地域ケアシステムのあり方を考察することができる。</p>
授業概要	<p>わが国の地域看護に係わる歴史的変遷を踏まえて、社会の変化と健康問題の取り組み方を学ぶ。公衆衛生の原点と言われる沢内村の取り組みを分析し、住民の「生命を衛る」上での不可欠な要素を自己の課題と関連づけて考察する。また、生活習慣病（主として認知症）の予防から非薬物療法に至る包括ケアについて、各種理論と関連させて地域看護について洞察を深める。</p> <p>授業形式は、プレゼンテーションをもとにセミナー形式ですすめる。</p>
授業計画	<p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 地域看護学の歴史（萌芽期）</p> <p>第3回 地域看護学の歴史（先駆的活動）</p> <p>第4回 戦後から今日に至る地域看護活動</p> <p>第5回 沢内村の活動の分析（1）</p> <p>第6回 沢内村の活動の分析（2）</p> <p>第7回 沢内村の活動の分析（3）</p> <p>第8回 沢内村の活動からの学びまとめ</p> <p>第9回 認知症高齢者の理解</p> <p>第10回 認知症ケアの動向</p> <p>第11回 事例検討</p> <p>第12回 事例検討</p> <p>第13回 事例検討</p> <p>第14回 生活習慣病（主として認知症ケア）に関する地域ケアシステムの取り組みについての考察</p> <p>第15回 自己の地域看護観について発表</p>

<p style="text-align: center;">教材 参考文献等</p>	<p>参考書： 及川和男. 村長ありき一沢内村 深沢まさ雄の生涯. れんが書房新社. 2008 太田祖電他. 沢内村奮闘記. あけび書房. 1991 木村哲也. 駐在保健婦の時代. 医学書院. 2012 田中逸. セミナー生活習慣病. 日本医事新報社. 2015</p>
<p style="text-align: center;">成績評価 基準・方法</p>	<p>レポート (60%)、プレゼンテーション (40%)</p>
<p style="text-align: center;">履修要件</p>	<p>なし</p>
<p style="text-align: center;">関連科目</p>	<p>在宅看護学特論 老年看護学特論</p>
<p style="text-align: center;">留意事項 その他</p>	<p>授業前に参考書（沢内村奮闘記）を読んでおくことが望ましい。</p>